

2017年8月8日(火)
第1551回(本年度6回)例会

- 会長/小川 洋正 ■幹事/村崎 雅彦
- 広報委員会/渡部 伸久・鈴木 平助 ■例会日/火曜日 12:30~13:30
- 例会場/会津若松駅前 会津迎賓館 TEL.0242(25)3311
- 事務所/会津若松市追手町3-24 TEL.0242(29)5866 FAX.0242(38)2895
- URL <http://www.aizujonan-rc.com>

■ 会長挨拶

会長 小川 洋正



皆様、こんにちは。
(ゲストスピーカーのご紹介。後ほど、スピーチよろしくお祈りします)

今日は、「福島県もりの案内人・渡部正幸様」にスピーチして頂けるという事で、なるべく関連のあるネタを探しておりましたところ、多少関連があると思われるネタを「マイロータリー」から見つけましたので、

今日は「緑豊かな地球をつくる」というタイトルの、2015年4月14日付けの記事を会員の皆様にご紹介いたします。

スリランカのロータリー会員、ガウリ・ラジャンさんは、子どもの頃、木を這う蛇や虫が嫌いで、「できるだけ木に近づかないようにしていた。」と言います。「でも皮肉なことに、大人になってから津波に巻き込まれ、木に命を救われました。」

ラジャンさんが、海岸沿いの自宅で家族や友人と休暇を過ごしていた2004年(平成16年)12月26日、スマトラ島沖地震が発生し、大津波で家が大破しました。「これが自分の最期と思った。」と、ラジャンさんは当時を振り返ります。

引き波で、深い海中に飲み込まれそうになったラジャンさんですが、地中深く根を下した木にしがみつき、一命を取りとめました。「その後20分ほど、波に流されそうでしたが、ありったけの力で木につかまっていた。」と言います。

いったん波が落ち着くと、ラジャンさんは家のあった方向へと、全力で泳ぎ始めました。家族や友人を探すためです。再び大波がやってきましたが、ここでも運よく、別の木の上に避難できました。この日、大切な友人3人を亡くしたラジャンさんは、「2本の木が私の命を救ってくれました。こうして今生きているのは、奇跡です。」と言います。

ラジャンさんは現在、島国スリランカで森林を取り戻すため、啓蒙活動と資金集めに奔走しています。

地元で「One Million Tree Stories」(100万本の木のストーリー)というプロジェクトが発足したのは、スマトラ島沖地震から10年後の2014年(平成26年)12月です。スリランカのイバガムワ・ロータリークラブが中心となり、地元農家、銀行、政府機関、スリランカ陸軍も協力する中、森林再生に取り組んでいます。目標は2015年100万本の木を植えること。今後5年間で、さらに400万本の植林を目指しています。

スリランカ政府によると、同国の森林率は過去20年間で

53%から29%に激減したといます。さきほどの森林再生プロジェクトの発案者で、スリランカのイバガムワ・ロータリークラブ会長のドン・ニハル・ワニガセカラさんは、大規模な森林破壊が「地球破壊」につながっていると話します。「森林破壊を食い止める法律ができましたが、この国の自然環境を守るには、もっと多くの努力が必要。一本ずつでも木を植えることが、未来の環境に大きな影響をもたらします。」

アメリカの農務省と環境保護庁によると、たった1本の木でも、その一生を通じて相当の温室効果ガスを吸収し、毎日4人分の酸素を排出するそうです。また、10部屋用クーラーが20時間稼働するのと同じだけの空冷効果があるほか、毎年推定273ドルの環境メリットをもたらすとされ、さらに、大雨による土砂災害を防ぎ、洪水や干ばつの影響を抑える効果が期待されます。

温暖化の影響を抑えるため、スリランカでは今後10年間に最低2,000万本の木を植える必要があると、先ほどのイバガムワ・ロータリークラブ会長のワニガセカラさんは見積もっています。「クラブ全員が賛同してプロジェクトに取り組むことになったのは、次世代に安全な環境を残したいと願ったことです。地球の緑を守るため、私たち一人ひとりが責任ある行動を心がげなければなりません。わたしたちが植える100万本の木が、その第一歩となるでしょう。」

と、これまでお話を頂いた内容は、マイロータリーに掲載されている2015年4月14日付けの記事を、一部省略して紹介いたしました。

因みに、今年度の国際ロータリー会長・イアン H.S. ライズリー氏は、国際ロータリー共通目標の一つである「公共イメージと認知度向上」キャンペーンの一環として、120万本の植樹(会員一人1本の植樹)の方針を打ち出しております。

その方針を受けて、第2530地区の鈴木邦典ガバナーは、分区分ごとに「会員一人1本の植樹」に取り組むよう要請しております。今後の具体的な取り組みについては、会津分区分の会長幹事会で協議されていくことになります。よって、会員の皆様にもご負担又はご協力をお願いすることもあろうかと思っておりますので、その際はご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上、環境保全に関するお話でしたが、本日の会長挨拶とさせていただきます。

それでは、皆様本日もよろしくお願い致します。

- 点 鐘 小川 洋正 会長
- ロータリーソング 我らの生業
- 四つのテスト 山田 哲史 君
- 会長挨拶 小川 洋正 会長
- 本日のお客様
福島県もりの案内人 渡部 正幸 様

本日のプログラム

- ゲストスピーチ
福島県もりの案内人 渡部 正幸様

幹事報告

村崎 雅彦 幹事



1. ガバナー事務所より
 - MYROTARY 操作勉強会についてのお知らせ (受)
 - 地区大会記念ゴルフコンペ 募集×切のお知らせ (受)
2. 会津分区より
 - 第3回会長幹事会のご報告並びに 第4回会長幹事会開催の案内 (受)
3. 会津若松西RC・会津若松南RC・会津若松中央RCより
 - 8月の例会プログラム (受)
4. 会津坂下RCより
 - 創立50周年記念誌 (受)

各委員会報告

出席委員会

赤城 明広 副委員長

- 出席率 65.22%
- 前回出席率訂正 64.00%

ニコニコBOX委員会

村崎 雅彦 幹事

小川君、村崎君、岡本君、赤城君：渡部正幸様いらっしゃいます。本日はスピーチよろしくお願ひします。

R財団委員会

松川 正光 委員長

小川君：山田エレクト、村崎幹事8月5日(土)の戦略計画セミナーへの出席ありがとうございました。

赤城君：台風5号の影響はなかったですか。災害に備えましょう！

山田君：渡部様スピーチよろしくお願ひします。

米山記念奨学会委員会

渡部 伸久 副委員長

小川君：福島RCの加藤先生、西瓜の差し入れ誠に有難うございました。

松川君、大塚君、菊地君、渡部(伸)君：福島もりの案内人渡部正幸様、悪天候の折大変ご苦労様でございます。よろしくお願ひ致します。

小池君：渡部様楽しみです。

赤城君：ニコニコ・R財団に同じ。

ア ル バ ム



小川会長点鐘。本日もよろしくお願いします。



本日のお客様は「福島県もりの案内人」
渡部正幸様です。よろしくお願いします。

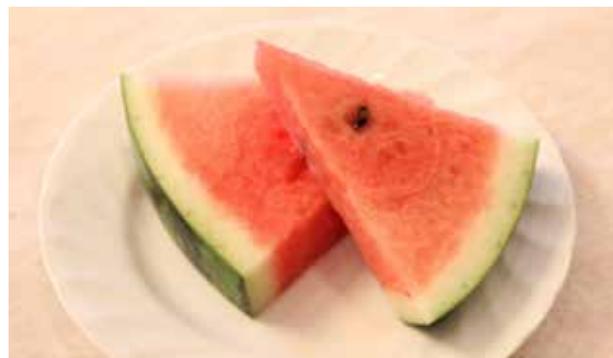


小川会長の挨拶と村崎幹事より幹事報告です。



菊地副 S.A.A. より運営している七日町のパンフィールシュンさんのパンの差し入れです。
ありがとうございます、いただきます！

デザートにスイカ。
ありがとうございます、いただきます！



本日のプログラムは
NPO 法人福島県もりの案内人の会の
渡部さまのゲストスピーチです。
赤城会員よりご紹介。





NPO 法人福島県もりの案内人の会森林などの自然環境づくりを通して、福島県民に自然の大切さを広めているそうです。自然観察会、木工クラフト指導など、子どもたちはもちろん大人も楽しく体験できるプログラムを実行しているとか。スピーチでもクイズなどもあり、とても楽しくなりました。

渡部さままたいらしてください。ありがとうございました！